

第17回特別展 日大理工のちからXIII

日本大学理工学部100周年記念

平山善吉展

2020.9.16 WED. ~
2022.7.2 SAT.

CSTミュージアム(日本大学理工学部科学技術史料センター)

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1 日本大学理工学部 船橋キャンパス テクノブレース15 TEL.047-469-6372

開館 月曜日～土曜日10:00～17:00 休館 日曜日・祝日【入場無料】後援:千葉県船橋市教育委員会/日本大学理工学部校友会

■ CST MUSEUMは現在、事前連絡による予約制になっております。詳しくは裏面をごらんください。



木村秀政と平山善吉展

日大理工学部100周年記念特別展

2020.9.16 WED. ~
2022.7.2 SAT.

日本大学理工学部の100周年を記念し、日本大学理工学部の誇れる先人の活躍と魅力をご紹介します。日本大学理工学部100周年記念特別展「木村秀政と平山善吉展」は、軽飛行機と人力飛行機の研究で国際的に活躍した名誉教授・木村秀政先生と現在も活躍中の本学部出身の名誉教授・平山善吉先生をご紹介します。木村先生は、1962年（昭和37年）戦後初の旅客機YS11を設計し、航空業界の発展に寄与しました。平山先生は、1956（昭和31）年、第1次南極観測隊の最年少の隊員として参加し、南極基地建設に尽力し、現在は、世界遺産の遺跡建築の重鎮として活躍されています。設計図面、飛行機模型、開発機器、南極の建物の木質パネルの実物、半世紀前の貴重な映像などを公開いたします。みなさまのご来場をお待ち申し上げます。



木村秀政展



平山善吉展

- 100周年を記念した各種イベント（南極に関するワークショップ、講演など）は、コロナ禍のため、日程調整中です。決まり次第、HPでご案内させていただきます。
- CST MUSEUMは現在、事前連絡による予約制になっております。詳しくはミュージアムHPをごらんください。

CST MUSEUM ホームページ利用案内

<https://www.museum.cst.nihon-u.ac.jp/02-1.html>

電話

(047) 469-6372

CST MUSEUM HP



事前予約メール



木村 秀政 (1904~1986) 日本大学名誉教授

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1904年 青森県に生まれる | 1957年 国産旅客機YS11基本構想に参画 |
| 1927年 東京帝国大学工学部航空学科卒業 | 1966年 人力飛行機「リネット1」初飛行 |
| 1932年 航研機の胴体・尾翼・脚の設計 | 1977年 人力飛行機ストークBで世界記録を樹立 |
| 1945年 東京帝国大学教授 | |
| 1947年 日本大学工学部(現・理工学部)教授 | |
| 1952年 軽飛行機N52開発開始 | |
| 1958年 軽飛行機N58開発開始 | |



平山 善吉 (1934~) 日本大学名誉教授

- | | |
|---|----------------------------|
| 1934年 千葉県に生まれる | 1989年 日本大学理工学部教授 |
| 1956年 日本大学理工学部建築学科卒業
同大学院入学、第一次南極観測隊参加 | 1996年 日本建築学会賞を受賞 |
| 1960年 第二次南極観測隊、第三次南極観測隊(越冬)文部省に勤務 | 2002年 最高裁判所長官より表彰状と金杯を授与 |
| 1975年 米国よりAntarctic Service Medal of USAを受賞 | 2019年 カンボジア王国よりサハメトレイ勲章を授与 |

CST 日本大学理工学部

船橋キャンパス 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

アクセス 東葉高速鉄道(東京メトロ東西線乗り入れ) [船橋日大前] 駅下車 西口徒歩1分

<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/>



校内マップ





日本大学理工学部科学技術史料センター

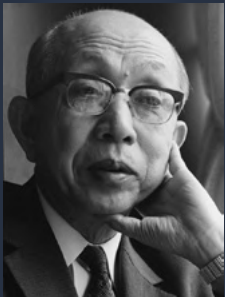
日本大学理工学部創設100周年記念

第17回特別展

木村秀政と平山善吉展

木村秀政

(1904–1986)



略 歴	展示内容
1904 青森県に生まれる	木村秀政先生は、戦前は東京大学航空研究所で航空機などの開発に携わり、戦後は国産旅客機 YS-11の基本構想に参画している航空機開発の専門家です。木村先生は日本大学工学部（現・理工学部）では、機械工学科の卒業研究として、多数の学生とともに軽飛行機やモーターグライダーの設計と人力飛行機の開発（基礎研究から設計・製作・試験飛行まで）を実施しています。実際に日本大学航空部での訓練にも使用された軽飛行機 N-58 の性能計算書、図面、風洞模型など、初飛行に成功した人力飛行機リネット、当時の世界記録を達成した人力飛行機ストーク、関係する資料を展示します。人力飛行機の伝統は学生に引き継がれ、サークルの航空研究会が鳥人間コンテストに参加しています。鳥人間コンテストの人力飛行機（実物大操縦席実験用模型）も展示します。
1927 東京帝国大学工学部航空学科卒業	
1929 東京帝国大学工学部大学院修了	
1932 航空機の胴体・尾翼・脚の設計、性能試験および飛行計画を担当	
1934 東京帝国大学航空研究所嘱託	
1937 東京帝国大学航空研究所技師	
1941 東京帝国大学助教授	
1945 東京帝国大学教授	
1946 航空研究所官制廃止により自然退官	
1947 日本大学教授	
1952 軽飛行機 N-52 開発開始	
1953 日本航空学会会長に就任	
1955 日本大学工学部機械工学科に航空専修コース設置	
1957 国産旅客機 YS-11 基本構想に参画	
1958 軽飛行機 N-58 開発開始	
1966 人力飛行機「リネット I」初飛行に成功	
1969 日本大学評議員	
1970 日本大学理事	
日本大学理工学部長	
モーターグライダー N-70 開発開始	
1972 日本大学副総長	
1974 日本大学名誉教授	
1977 人力飛行機ストーク B で世界記録を樹立	
1986 逝去	

平山善吉

(1934–)



略 歴	展示内容
1934 千葉県に生まれる	現在も活躍中の本学部出身の名誉教授・平山善吉先生は、1956(昭和31)年、日本大学工学部（現・理工学部）大学院に在学中に第1次南極観測隊の最年少の隊員として参加し、南極基地建設に尽力した建築構造力学の専門家です。本展示では、南極基地の木造壁面構造がわかる実物のカットモデル、図面、マイナス40度の過酷な気候のなかで使用できる機種として日本で開発されたカメラのNIKON-F2、F3、南極で発見された隕石、調査ノートの野帳、装備衣料、エベレストの頂上の石なども展示いたします。また、現在は、世界遺産の遺跡建築の重鎮として活躍されており、アンコールワット遺跡群の修復工事資料も展示いたします。
1956 日本大学工学部建築学科卒業	
1956 第1、第2、第3(越冬)次南極観測隊員として文部省に勤務	
1961 日本大学大学院工学研究科修士課程修了	
日本大学理工学部勤務 助手	
1964 日米交換科学者として NFS(national science foundation of USA) の招聘により米国南極観測隊に参加	
1975 米国より Antarctic Service Medal of USA を受賞	
1989 日本大学教授	
1990 日本大学理事・評議員、常務理事	
1991 アンコール・ワット遺跡国際調査団に参加	
1992 日本大学理事長代理・代行	
1995 日本大学エベレスト登山隊・総隊長としてエベレスト北東稜登頂	
1996 南極昭和基地建物の設計と建設に関する一連の業績で日本建築学会賞を受賞	
エベレスト北東稜登山隊・総隊長として1995年度朝日スポーツ賞を受賞	
2002 最高裁判所長官より表彰状と金杯を受ける	
2003 定年により退職・日本大学名誉教授	
2004 日本文理大学工学部教授	
2018 カンボジア首相から「サハメトレイ勲章・大騎士章」受勲	
日本大学名誉教授 国立極地研究所顧問 日本建築学会元副会長・名誉会員 日本山岳会元会長・名誉会員	日本極地研究振興会常務理事 上智大学客員教授 日本文理大学客員教授



CST ミュージアムの5つの使命 (ミッション)

- ①本学部関係者の貴重資料を収集・保存・調査・展示します。
- ②本学部関係者が取り組んでいる教育・研究活動を紹介します。
- ③展示と解説を通じて科学技術教育に取り組み、来館者の知的好奇心を高めます。
- ④科学技術について再考する場を、学内外のさまざまな人々に提供します。
- ⑤科学技術の歴史を理解・紹介する学芸員などの育成を行います。

■ 所在地
〒274-8501
千葉県船橋市習志野台 7-24-1
日本大学理工学部船橋キャンパス テクノプレイス15
Tel.047-469-6372
Fax.047-469-6317
www.museum.cst.nihon-u.ac.jp

■ CST キャンパスへのアクセス

日本大学理工学部駿河台キャンパス
〒101-8308
東京都千代田区神田駿河台 1-8-14
日本大学理工学部船橋キャンパス
〒274-8501
千葉県船橋市習志野台 7-24-1

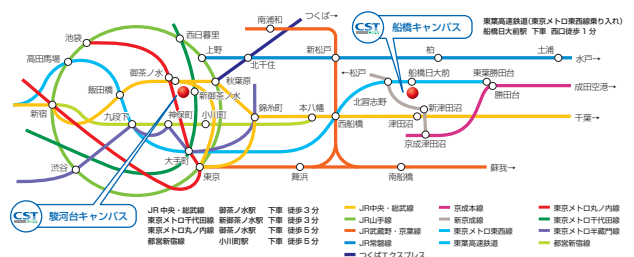


■ 開館時間
10:00 ~ 17:00
但し、夏期休暇に伴う開館時間は
10:00 ~ 16:00

■ 閉室時間
月～金 13:20 ~ 14:20
土・大学夏期休暇期間 12:00 ~ 13:00

■ 休館日
日・祝祭日、大学が定める休日、
夏期休暇中の土曜日

■ 観覧料
無料



CST MUSEUM —館内案内図—

2F

展示コーナー3
Exhibition space3

木村秀政関連パネル
Panels related to Prof. Hidemasa Kimura



特別展示室
Special exhibition room



受付
Information office

マルチホール
Multi-purpose hall

展示コーナー2
Exhibition space2

人力飛行機操縦席とN-58 軽飛行機模型
Wind tunnel model for cockpit of human-powered aircraft
and models of light aircraft N-58



常設展示室
Permanent exhibition room



B1

工作実習室
Mechanical Engineering Practice
Laboratory

宇宙機誘導制御実験室
Spacecraft Guidance
& Control Laboratory

展示コーナー4
Exhibition space4



1F

基礎構造
実験室
Geotechnical
Laboratory

構造・材料実験室
Structure & Material Testing
Laboratory

海洋建築水構実験室
Wave Tank for Oceanic Architecture
& Engineering

エントランス
Entrance

環境水理実験室
Environmental Hydraulic
Laboratory

土木・交通モデル
実験室
Model Experiments
Area for Dept.
of C.E. & T.E.S.T

工作実習室
Mechanical Engineering Practice
Laboratory

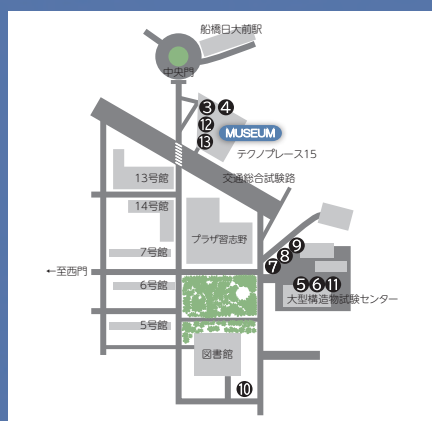
展示コーナー1
Exhibition space1



エントランス
Entrance

航空機実験室
Aircraft Laboratory

船橋キャンパス



保存資料

- 1 駿河台校舎旧1号館正面玄関（駿河台）
- 2 駿河台校舎旧1号館装飾（駿河台）
- 3 関東大震災の歴史的記録（船橋）
- 4 軽飛行機 N-58 Cygnet（模型）（船橋）
- 5 フェロセメント・ヨット（船橋）
- 6 海幸橋ヒンジ（船橋）
- 7 ダウンウインド型風向風速計（船橋）
- 8 潮流発電装置（船橋）
- 9 NU-102 風力発電装置（船橋）
- 10 「旧三菱一館」復元のための煉瓦壁試験体（船橋）
- 11 高品質リサイクルコンクリート壁試験体（船橋）
- 12 江ヶ崎跨線橋の支承（船橋）
- 13 明治期万年橋のアーチ部材と
昭和戦前期の鉄筋とコンクリート（船橋）

駿河台キャンパス

